

問がほしい。稼ぐには合理的」との理由

られないだろうが。(良)
(新潮新書・842円)



地域の人をつなぎ、小さな経済を耕す。金丸弘美

唐津市出身で食環境ジャーナリストの金丸弘美さんが、「美味しい田舎のつくりかた」(学芸出版社・1944円)を刊行した。総務省地域力創造アドバイザーなどを務め全国1000カ所及び農山漁村を訪問した経験を元に、田舎ならではの知恵を生かした「食」



金丸弘美さん

ビジネスに成功した10例を製造、流通、小売りなどの分野で紹介している。

地域特産の素材を生かした加工品製造の成功例として、山口県周防大島のジャム作りの小さな会社を取り上げている。

過剰生産気味の果実を

食環境ジャーナリスト 金丸弘美さん(唐津市出身)が新刊

正式契約。特産のミカンを使ったジャムをはじめ、パンにつけて焼くサツマイモの「焼きジャム」などカラフルで楽しいプレミアム商品を作り、都市圏で販路を開拓した。年々売り上げを延ばし、小さな工房をつくって雇用も増やした。

ユニークなのは、島に移住してきた若者が栽培した紫芋を使ったジャムを開発するなど、共同コミュニティの結びつきを強くし、幅広いサービスを生み出す原動力としていることだ。

金丸さんは「単に美味しいだけでなく地域の個性、実直な技術などの要素が絡み合うことで『五感に訴える味』が生み出される」と、高齢化、人口減少の中で、食を生かした地域経済の展開策を示している。

(山内克也)

食を生かした地域経済

◇ブックファースト新宿店調べ

- ①西尾維新著「掟上今日子の備忘録」(講談社・1350円)
- ②佐藤優著「創価学会と平和主義」(朝日新聞出版・821円)
- ③エリック・シュミットほか著「How Google Works」(日本経済新聞出版社・1944円)
- ④ADK金融カテゴリーチーム著「『お金と心理』の正体」(経済界・1620円)
- ⑤橘玲著「お金持ちになれる黄金の羽根の拾い方2015」(幻冬舎・1728円)
- ⑥井口晃著「誰でもできる、い

つでもできる、どこでもできる『身のたけ起業』(角川学芸出版・1512円)

- ⑦白井由妃著「できる人はなぜ、本屋で待ち合わせをするのか？」(翔泳社・1296円)
- ⑧伊坂幸太郎著「アイネクライネナハトムジーク」(幻冬舎・1512円)
- ⑨岸見一郎、古賀史健著「嫌われる勇気」(ダイヤモンド社・1620円)
- ⑩小山鹿梨子著「まんがでわかる7つの習慣3」(宝島社・1080円)

ベストセラーズ

◇紀伊國屋書店佐賀店調べ

- ①「妖怪ウォッチ2 元祖本家オフィシャル攻略ガイド」(小学館・1296円)
- ②広瀬煉著「魔導師は平凡を望む 6 アリアンローズ」(フロンティアワークス・1296円)
- ③「フィギュアスケートDays Plus 2014 Autumn 男子シングル読本」(ダイエックス出版・1944円)
- ④増田寛也編「地方消滅」(中央公論新社・886円)
- ⑤日本放送協会/NHK出版著

「はじめてのスムージー」(NHK出版・616円)

- ⑥「『ハイキュー!!』烏野高校バレー部活動日誌」(メディアソフト・880円)
- ⑦菊池京子著「K.K closet Autumn-Winter 1」(集英社・1620円)
- ⑧「福岡の美味しいパン屋さん」(KADOKAWA・950円)
- ⑨矢作直樹著「おかげさまで生きる」(幻冬舎・1080円)
- ⑩『島義勇伝』製作委員会/エアダライブ著「島義勇伝」(Dybooks・972円)

◇ ◇